

第5学年 道徳学習指導案

日時 平成17年9月13日 3校時

児童 大船渡市立大船渡北小学校 5学年1学級

男子13名 女子17名 計30名

授業者 細谷 恵美 (長期研修生)

1 主題名 困った人の身になって [2-(2)思いやり、親切]

2 資料名 くずれ落ちただんボール箱 (希望を持って5年 東京書籍)

3 主題設定の理由

(1) 価値について

学習指導要領道徳の第2章、第5学年及び第6学年の内容の2「主として他の人とのかかわりに関すること」の(2)に、「だれに対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にする」とある。2の視点は、自己を他の人とのかかわりの中でとらえ、望ましい人間関係の育成を図ることに関するものである。高学年においては、特に相手の立場に立つことを強調する必要がある。どのように対処することが相手のためになるのかをよく考えた親切な言動が求められる。

本当の親切とは、行為の相手を選んだり、見返りを期待するものではない。そこで、たとえ人に認められなくても相手の立場や気持ちを考え、だれに対しても温かく接することに気付かせることができる大切な価値である。

(2) 児童について

児童は、自分に好意的な人には親切にし、物を貸したり、困っている人に手を貸したりする。しかし、自分に不都合なときや知らない人に会ったりすると、相手が困っていても面倒だったり、恥ずかしかったりして、なかなか親切という行為に移せないでいることがよく見られる。

そこで、相手の立場や気持ちを考え、だれに対しても温かく接しようとする心情を育てることは大切なことだと考える。

(3) 資料について

本資料は、孫が崩してしまっただんボール箱を、おばあさんに代わって「わたし」と友だちの友子が整理をしていると、事情を知らない店員にしかられてしまう。納得のいかない二人であったが、3学期の始業式で店員からの謝りの手紙を聞いて、心が明るくなるという内容である。

主人公のすっきりしない気持ちに共感させながら、相手の立場や気持ちを考え、だれに対しても温かく接しようとする心情を育てるのに適した資料である。

(4) 指導に当たって

導入では、ファミリーカードから「相手のことを考えている」という観点で書かれている児童に意図的指名をし、価値への方向付けを行う。

展開の主人公の気持ちについて考える場面では、ファミリーカードに記入した出来事や気持ちを意識させながら、主人公の素直な気持ちや複雑な気持ちに十分共感させる。共感できにくい場合は、ハートフルカードから主人公と似た自分が優しくした出来事を紹介し、自分達の行為と比べながら考えやすくさせる。自分の生活を見つめ直す場面では、ハートフルカードから保護者の気持ちを紹介してから生活を振り返らせることで、ねらいとする価値への意欲付けを図る。

(指導における基本的な考え方は、平成17年度岩手県教育研究発表会資料参照のこと)

4 本時の指導

(1) ねらい

困っている人を見たらその人の身になって考え、親切にしようとする心情を育てる。

(2) 展開

事前カード	<p>「思いやり、親切」という価値にかかわる自分の出来事を家の人から聞いたり、その時の自分の気持ちを思い出したりしてカードに記入する。</p>	<p>子どもから受けた「思いやり、親切」という価値にかかわる出来事と、その時の気持ちを書いてもらう。</p>
	<p style="text-align: center;">ファミリーカード</p> <p>設問1 自分の、やさしさが感じられた出来事をおうちの人から聞いて書きましょう。</p> <p>設問2 「設問1」の時、どうしてやさしくしてあげたのか、その時の気持ちを思い出して書きましょう。</p>	<p style="text-align: center;">ハートフルカード</p> <p>設問1 自分が、お子さんに優しくされて、うれしかったと感じた出来事があったら書いてください。</p> <p>設問2 「設問1」の時、どんな気持ちや思いをもったか書いてください。</p>

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
導入 (5)	<p>1 ねらいとする価値に興味・関心をもつ。</p> <p>おうちの人から聞いた、自分の優しいと思えた出来事について発表しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・帰りが遅くなったとき、夕ご飯の準備や後片づけを手伝ってくれた。 ・子供会の活動で、低学年のめんどうをよく見ていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーカードから、「相手のことを考えている」という観点で書かれている児童に意図的指名をし、価値への方向付けを行う。
展開	<p>2 資料「くずれ落ちた段ボール箱」を読んで、話し合う。</p> <p>「わたし」は、どうしてだんボール箱の片付けを手伝うことにしたのでしょうか。</p> <p>店員にしかられたとき、「わたし」は、どんな気持ちだったでしょう。</p> <p>おばあさんにお礼を言われたとき、「わたし」は、どんな気持ちだったでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おばあさんが困っていたから。 ・だれも手伝おうとしなかったから。 ・そのまましておけなかったから。 ・みんなも困ると思ったから。 ・どうしておこられるの。 ・悪いことはしてないのに、くやしい。 ・手伝わなければ良かった。 ・手伝って、良かったな。 ・おこられたのは頭にくるけど、おばあさんのためになったのだからいいことにしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーカードに記入した出来事や気持ちを意識させながら、主人公の気持ちを考えさせる。 ・おばあさんを見て、そうせすにはいられなかった気持ちを取り上げる。 ・深入りせずに、素直な気持ちを発言させる。 ・なんとなく救われた気持ちと、まだすっきりしない複雑な気持ちを、素直に発表させる。

展	<p>わたしの足取りが、リズムに乗って、いつもより軽やかだったのは、どうしてでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おばあさんにお礼を言われてうれしいけど、なんだかすっきりしないな。 ・なんか、複雑な気持ちだな。 ・手伝わなければよかったな。 ・親切にしてやっぱり良かったと思ったから。 ・もやもやしていた気持ちがすっきりしたから。 ・店員さんに分かってもらえたから。 ・自分達がしたことが、みとめられたから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えを聞いて、良いなあと思う考えを、学習シートに書かせる。 ・「わたし」の気持ちを考えさせ、だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすることの心地よさをつかませたい。 ・ハートフルカードに書いてもらった児童の出来事と、その行為を受けたときの気持ちを紹介し、相手の気持ちを意識させる。
開	<p>3 自分の生活を見つめ直す。 今までの生活をふり返って、今日の学習をもとに感じたことを書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今までは、知っている人が困っていたら親切にしてあげたけど、これからは、知らない人でも困っていたら親切にしてあげたい。 ・お礼を言ってもらうために人に親切にするのではなく、相手の立場や気持ちを考えて行動していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の考え方のよさや、相手の気持ちを意識させた上で自分を見つめ直し、学習シートに記入させる。
(37)	<p>4 教師の説話を聞く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことが日常に生かされていくように、意識付けを図る。
終末			
(3)			